



うみ ちきゅう かがく まな
海と地球の科学を学ぶ

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ

9月活動報告

■日時: 令和5年9月10日(木)8:30~12:30 ■会場: 野外巡検

参加者: マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ会員12名・家族4名・関係者6名・・・計22名

はちのへし すいさんかがくかん

八戸市水産科学館マリエント

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ

さんりく

だいけんきゅう

『三陸ジオパーク大研究』

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ ジオの大研究 種差海岸と海成段丘



8:45: マリエント出発

ジュニア井上賢之会長より海成段丘について説明を受けながら乗車しました。八戸には7つの段丘があると言われていたようで、今回の経路、マリエントから鮫駅を過ぎ、種差へ繋ぐ道のりからも、少し平らになっている場所から斜めに傾いている場所へといくつにも重なっている、段丘面と段丘面の間が坂になっているということ、体感できました。



かぶしま いわ
蕪島の岩は「火山の動きでできた岩」と「水の動きでできた岩」があります。

はちのへせん とお だんきゅう
JR八戸線が通る段丘は津波が届かなかったそうです。



趣旨

シニアクラブでは、地球科学分野における国内最大の学会であるJpGU(日本地球惑星科学連合)2024大会参加を目指し、その取り組みの1つとして野外巡検を行います。

ジオサイトとその周辺を実際に歩き見学することにより、地質・地形(海成段丘)に接し、ジオの多様性と知識・理解を深めていきます。

スケジュール

- 8:15 : 受付開始(1階正面玄関前)
- 8:45 : マリエント出発→(バス)
- 9:15 : 大久喜漁港見学 《徒歩》→(バス)
- 9:50 : 南浜公民館駐車場→《徒歩》北浜→種差天然芝生地
- 10:55 : 種差IC(トイレ休憩)→(バス)→大須賀海岸駐車場→《徒歩》大須賀海岸
- 11:55 : 大須賀海岸駐車場→(バス)
- 12:30 : マリエント帰着
レポート作成 (3階ウミネコシアター)終了・解散



斜面になっているのがわかります

火山灰は時代を決めるカギとなっていました。近年では放射線源の使用で地層がいつできたのかわかるそうです。

海成段丘は海底が波により浸食され変動や隆起によって現れた地形で上位にあるものほど古く、火山灰は下位のものほど古い。地形には様々な種類があり多様性があることも学びました。

9:15: 大久喜漁港見学



東日本大震災の津波で流出した鳥居が後にアメリカで見つかり再建された「奇跡の鳥居」「厳島神社」。



砂浜の様子も観察しました。また一年後の砂と比べるため、砂を採取。



同じ場所でも色の違ういくつかの岩が見られました。



黒い砂には砂鉄が含まれているそうです。

砂浜にナミナミ模様が幅や砂粒の大きさ、色に違いがありました。

「龍宮の乙姫の元結の切り外し」という、最も長い植物名を持つ「アマモ」で知られた海産種子植物。昔はこれを集めてコシミノを作ったそうです。

海岸には砂浜にも、岩にも不思議や発見がたくさんありました。



9:50:北浜・種差海岸見学



ようがん なが かた いわ いろ ちが いわ かんしよく ちが いわ
溶岩が流れ固まった岩や色の違う岩、感触が違う岩
がゴロゴロ集まっています。



北浜
ここでも
すな さいしゆ
砂を採取。



種差
海岸



3万頭もの馬が
いたそうです

たねさしてんねん しばふち かまくらじだい うま ほうぼく
種差天然芝生地は、鎌倉時代の馬の放牧の
ために形成された芝生の一部です。
かざんばい つ かさ うえ しょくぶつ さ
火山灰が積み重なり、その上に植物が咲き、
えいよう ゆうきぶつ う こく ど
栄養、有機物が生まれ黒ボク土になりました。
しばふ よういん こく ど
芝生になった要因はこの黒ボク土であると
いわれています。



はる なつ あき こと しょくぶつ さ たねさし とくちゆう
春、夏、秋とまったく異なる植物が咲くのも種差の特徴
うみかぜ しっち かんそう いわば どくとく かんきよう どくじ
です。海風、湿地、乾燥、岩場といった独特の環境が独自の
せいいたいけい う だ しょくぶつ ばくく
生態系を生み出し、いくつもの植物を育てています。

階上岳のふもとまで
草原が広がっていたそうです



かいてい すな なが ねんげつ かた だんけつ
海底の砂が長い年月をかけて固まって固結してで
さがん かざんばい ちじょう すいぢゆう たいせき
きた「砂岩」や、火山灰が地上や水中に堆積してでき
ぎょうかいがん つ かさ
た「凝灰岩」などいろいろなものが積み重なってでき
たいせきがん おお み
た堆積岩が多く見られます。

11:55:大須賀海岸



ここでも
すな さいしゆ
砂を採取。



かいせいだんきゆう おおすか かいがん けんきゆう
海成段丘のビューポイント、大須賀海岸で研究した
かいせいだんきゆう せつめい かわぐち しゅうじ
海成段丘について説明してくれた川口修治さん。



今日のまとめ

3県にまたがる非常に大きな三陸ジオパーク。

リアスの恵みとテラスの営みが三陸ジオパークのキーワードです。
種差海岸は海岸の成立として非常に複雑で様々な生物や地形を持ち
「ジオ多様性・生物多様性が大きい」海岸です。「生物多様性」は、私たち
の生活や自然環境に大きく影響し、生物多様性を守ることが人類存続
のために非常に重要であるとされています。

生物の多様性は「生体系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」
から構成されており、その全てを種差海岸で見ることが出来ます。

今日の活動を通して、「大きくみること」「小さくみること」でたくさん
の発見が生まれ、生物多様性の恵みをこれからも受けることができるよ
う、生物多様性を守る=SDGsをしっかりと考えていくことが大切です。



せつめい
説明をしていただいた
たかはしあきらかいちゆう
シニア 高橋晃会長



スナップ



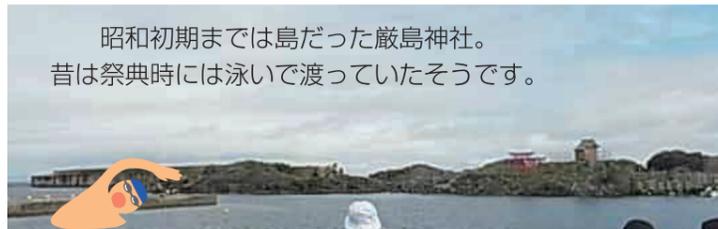
快晴に恵まれ、絶好の見学！
ワクワクします！



たくさん
不思議を
見つけてきてね！



大小、カタチも色も
感触も違う岩。



昭和初期までは島だった巖島神社。
昔は祭典時には泳いで渡っていたそうです。

神秘的でダイナミック
豪壮かつ優美な景観



寝転んだら
気持ち良さそ！



こんなに熱心に
砂を観察したことありませんでしたが、
不思議がたくさんありました！



無数の穴がありました。
どれも形状が違う！



種差海岸インフォメーションセンターの駐車場付
近にある岩は海底火山の噴火によって玄武岩質の
溶岩が枕状になった「枕状溶岩」。大変貴重な岩
なので、「この岩、じゃまよね！」と言わないでね。



大須賀海岸から
みえる絶景ポイント



「日本の渚・百選」にも認定。大須賀海岸
東北地方で最大級といわれる砂浜の長さは2.3km



国指定重要有形民俗文化財
市内に唯一現存する
茅葺(かやぶき)の「浜小屋」



大きな
潮だまり発見！
天然温泉みたい！



たねざし かいがん しゅうへん めく せいぶつ たようせい じゅうようせい おお まな
種差海岸周辺を巡り、生物の多様性の重要性を多く学びました。
なにげ み けしき なが ねんげつ へ けいせい せいぶつ ちけい も
何気なく見ていた景色ですが、長い年月を経て形成されてきた生物や地形を持ち
せいぶつたようせい おお せいぶつ たいせつ めく う こと
「生物多様性」が大きいことの意味、そしてその恵みを受けている事、
だいち し ごんご ちきゅう わたし いのち
大地をよく知り、そして今後も地球のいのち、私たちの命をつないでいくためにも
ほぜん たいせつ まな
「保全」していくことの大切さをジオパークから学びました。

こんかい せつめい たかはし かいちょう いのうえ かいちょう よこは かいちょう かんしゃ もう あ
今日説明していただいた高橋会長、井上会長、横葉会長に感謝申し上げます。
ほんじつ
本日は、ありがとうございました。